

1 普通会計のバランスシート

現行の予算制度は、単年度の「現金主義・単式簿記」方式による「フロー情報」であるため、これまでに蓄積してきた資産の構成や、将来負担しなければならない負債などの「ストック情報」はわかりにくいものになっています。そこで、企業会計的手法を活用し、財政状況をストック面から明らかにするため、国が示す基準に準拠して、平成10年度決算分からバランスシートを作成しています。

(1) 試算結果について (詳細については、2頁参照)

資産合計 2兆 1,333億円	負債合計 9,577億円 (資産合計の44.9%)
	正味資産 1兆 1,756億円 (資産合計の55.1%)

資産合計(2兆1,333億円)の内訳は、

- ・建物や土地などの有形固定資産が1兆9,067億円(89.4%)、うち土地が9,976億円を占めています。
- ・投資、貸付金などの投資等が1,929億円(9.0%)、
- ・現金、預金などの流動資産が337億円(1.6%)となっています。

負債合計(9,577億円)の内訳は、

- ・地方債が8,306億円(86.7%)、
- ・物件の購入等にかかる債務負担行為が63億円(0.7%)、
- ・職員が全員普通退職したと想定した場合の退職給与引当金が733億円(7.7%)、
- ・翌年度の地方債償還予定額の流動負債が475億円(4.9%)となっています。

正味資産(1兆1,756億円)の内訳は、

- ・国庫支出金が2,299億円(19.6%)、
- ・県支出金が248億円(2.1%)、
- ・一般財源等が9,209億円(78.3%)となっています。

(2) 市民1人あたりのバランスシート (詳細については、3頁参照)

項目	平成16年度 A	平成15年度 B	A-B
資産合計	166万6千円	165万4千円	1万2千円
負債合計	74万8千円	73万4千円	1万4千円
正味資産	91万8千円	92万円	2千円

平成17年3月31日現在の住民基本台帳人口(1,280,480人)に拠る。
(平成16年3月31日の住民基本台帳人口は、1,270,259人)

市民1人あたりでは、資産合計は前年度比1万2千円増の166万6千円、負債合計は1万4千円増の74万8千円、正味資産は2千円減の91万8千円となっています。

川崎市バランスシート(普通会計)
(平成17年3月31日現在)

(単位:千円)

借 方	貸 方
【資産の部】 1. 有形固定資産 (1) 総務費 <u>108,053,120</u> (2) 民生費 <u>41,915,317</u> (3) 衛生費 <u>164,803,892</u> (4) 労働費 <u>2,541,239</u> (5) 農林水産業費 <u>436,809</u> (6) 商工費 <u>29,130,262</u> (7) 土木費 <u>1,164,435,982</u> (8) 消防費 <u>25,284,738</u> (9) 教育費 <u>370,088,162</u> (10) その他 <u>10,111</u> 計 <u>1,906,699,632</u> (うち土地 <u>997,613,531</u>) 有形固定資産合計 <u>1,906,699,632</u> 2. 投資等 (1) 投資及び出資金 <u>121,788,556</u> (2) 貸付金 <u>38,495,609</u> (3) 基金 特定目的基金 <u>23,233,086</u> 土地開発基金 <u>9,415,518</u> 基金計 <u>32,648,604</u> 投資等合計 <u>192,932,769</u> 3. 流動資産 (1) 現金・預金 財政調整基金 <u>1,305,941</u> 減債基金 <u>10,491,735</u> 歳計現金 <u>5,156,225</u> 現金・預金計 <u>16,953,901</u> (2) 未収金 地方税 <u>12,234,745</u> その他 <u>4,467,184</u> 未収金計 <u>16,701,929</u> 流動資産合計 <u>33,655,830</u> 資 産 合 計 <u>2,133,288,231</u>	【負債の部】 1. 固定負債 (1) 地方債 <u>830,590,512</u> (2) 債務負担行為 物件の購入等 <u>6,274,990</u> 債務負担行為計 <u>6,274,990</u> (3) 退職給与引当金 <u>73,303,722</u> 固定負債合計 <u>910,169,224</u> 2. 流動負債 翌年度償還予定額 <u>47,513,427</u> 流動負債合計 <u>47,513,427</u> 負 債 合 計 <u>957,682,651</u> 【正味資産の部】 1. 国庫支出金 <u>229,870,200</u> 2. 県支出金 <u>24,833,198</u> 3. 一般財源等 <u>920,902,182</u> 正 味 資 産 合 計 <u>1,175,605,580</u> 負 債・正 味 資 産 合 計 <u>2,133,288,231</u>

債務負担行為に関する情報	物件の購入等に係るもの	<u>96,473,300</u> 千円
	債務保証及び損失補償に係るもの	<u>2,551,296,778</u> 千円
	利子補給等に係るもの	<u>0</u> 千円

(注)退職給与引当金の算定は、平均値により算出した。

市民1人あたりのバランスシート

(単位:千円)

借 方			貸 方		
[資産の部]	H16	H15	[負債の部]	H16	H15
1 有形固定資産			1 固定負債		
(1) 総務費	84	87	(1) 地方債	649	640
(2) 民生費	33	32	(2) 債務負担行為 物件の購入等	5	5
(3) 衛生費	129	132	(3) 退職給与引当金	57	59
(4) 労働費	2	2	固定負債合計	711	704
(5) 農林水産業費	0	0	2 流動負債		
(6) 商工費	23	23	翌年度償還予定額	37	30
(7) 土木費	909	902	流動負債合計	37	30
(8) 消防費	20	20	負債合計	748	734
(9) 教育費	289	287	[正味資産の部]		
(10) その他	0	0			
計	1,489	1,485	1 国庫支出金	180	178
(うち土地)	(779)	(768)	2 県支出金	19	20
有形固定資産合計	1,489	1,485	3 一般財源等	719	722
2 投資等			正味資産合計	918	920
(1) 投資及び出資金	95	89	負債・正味資産合計		
(2) 貸付金	30	31			
(3) 基金			1,666	1,666	1,654
特定目的基金	18	18			
土地開発基金	8	6			
基金計	26	24			
投資等合計	151	144			
3 流動資産					
(1) 現金・預金					
財政調整基金	1	1			
減債基金	8	6			
歳計現金	4	4			
現金・預金計	13	11			
(2) 未収金					
地方税	10	10			
その他	3	4			
未収金計	13	14			
流動資産合計	26	25			
資産合計	1,666	1,654			

(参考)

1 前年度の試算結果との比較

資産合計は、前年度比318億円の増、負債合計は250億円の増、正味資産は68億円の増となっています。

また、資産合計に占める正味資産の割合は、55.1% (前年度は55.6%)となっています。

項目	平成16年度 A	平成15年度 B	A-B
資産合計	2兆1,333 億円	2兆1,015 億円	318億円
有形固定資産	1兆 9,067 億円	1兆 8,860 億円	207億円
投資等	1,929 億円	1,833 億円	96億円
流動資産	337 億円	322 億円	15億円
負債合計	9,577 億円 (資産合計に占める割合 44.9%)	9,327 億円 (資産合計に占める割合 44.4%)	250億円
固定負債	9,102 億円	8,940 億円	162億円
流動負債	475 億円	387 億円	88億円
正味資産	1兆 1,756 億円 (資産合計に占める割合 55.1%)	1兆 1,688 億円 (資産合計に占める割合 55.6%)	68億円
国庫支出金	2,299 億円	2,260 億円	39億円
県支出金	248 億円	252 億円	4億円
一般財源等	9,209 億円	9,176 億円	33億円

2 有形固定資産の形成における世代間負担率

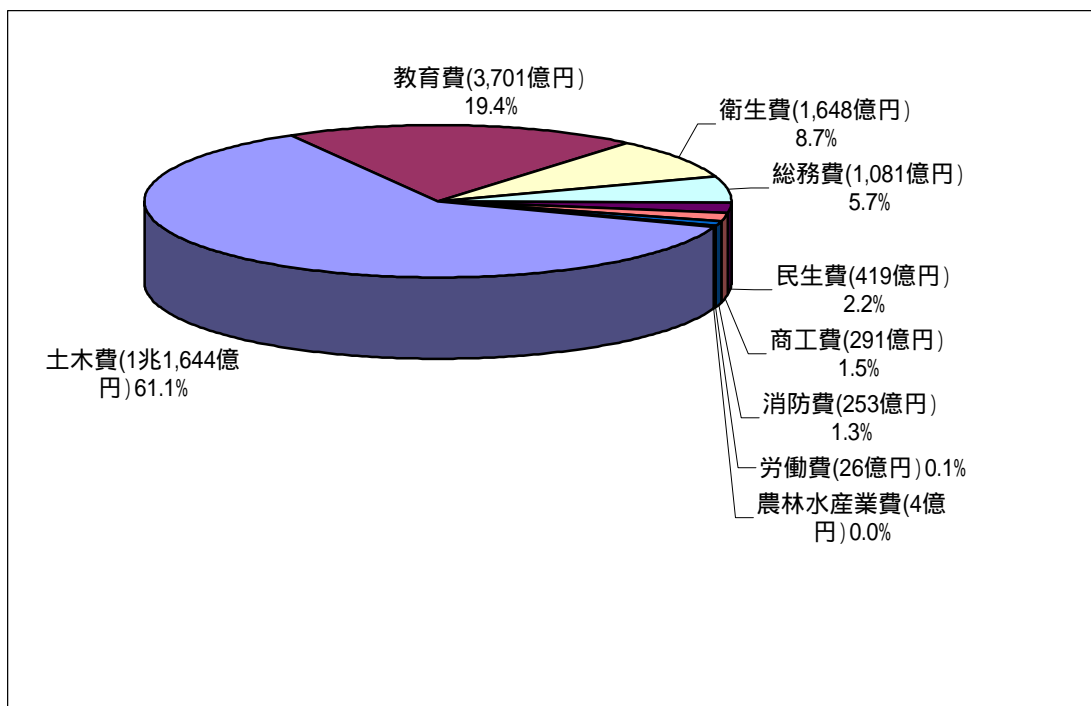
本市がこれまでに蓄積してきた有形固定資産に対する正味資産の割合をみることで、これまでの世代によって既に負担された割合がわかります。

平成16年度の割合は61.7%と、前年度と比較して0.3ポイントの減となっています。

	平成16年度	平成15年度
有形固定資産 A	1兆 9,067 億円	1兆 8,860 億円
正味資産 B	1兆 1,756 億円	1兆 1,688 億円
B ÷ A	61.7%	62.0%

3 普通会計上の区分別の有形固定資産

有形固定資産(1兆9,067億円)を普通会計上の区分別に見ると、次のようになります。



[説明]

土木費:橋りょう、道路、公園、街路及び住宅の整備、市街地再開発、区画整理など
 教育費:学校(小・中・高)、社会教育施設、短期大学、体育館・スポーツセンターの整備など
 衛生費:ごみ焼却施設、リサイクル施設、保健衛生施設の整備など
 総務費:本庁舎、区役所庁舎、市民利用施設の整備など
 民生費:保育園の社会福祉施設、高齢者福祉施設の整備など

道路や公園等の整備を行う土木費が全体の約6割、次いで、学校やスポーツ施設等の整備を行う教育費が約2割を占めています。

4 行政目的別の有形固定資産

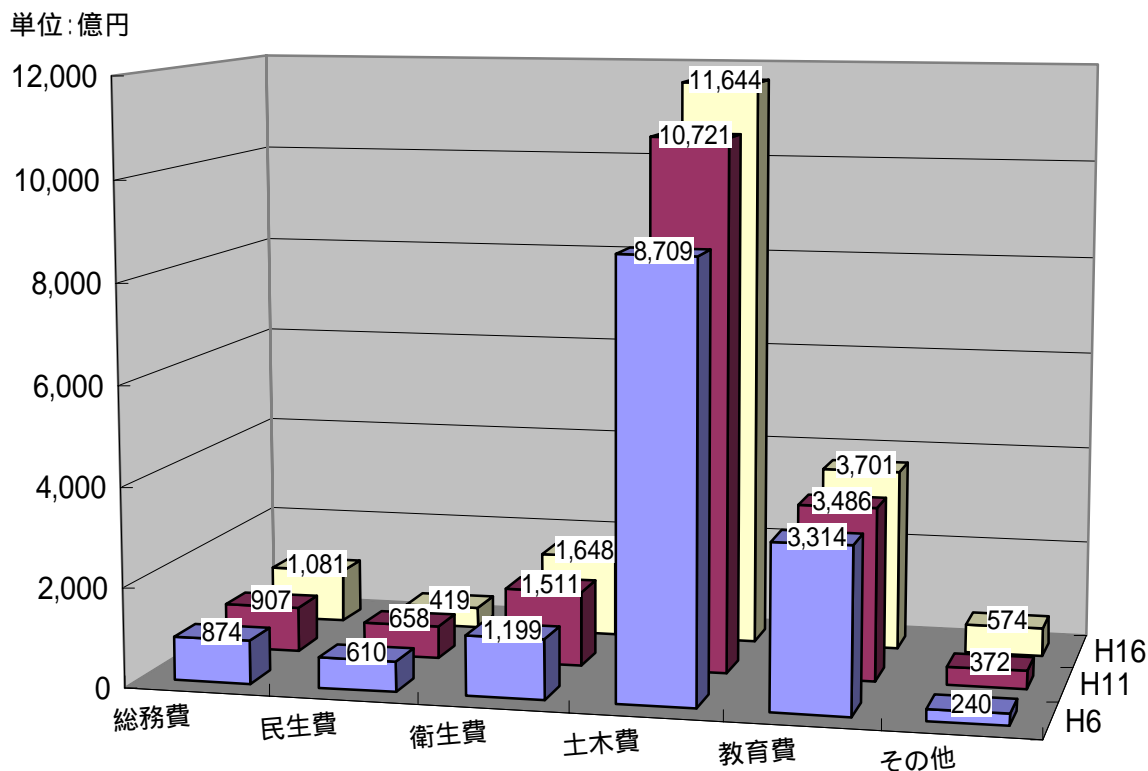
有形固定資産を川崎市の行政目的別に見ると、次のようになります。

(単位:億円・%)

行政目的	平成16年度 A		平成15年度 B		A-B (前年度比較)
	金額	構成比	金額	構成比	
保健・福祉・医療の充実	807	4.2	803	4.2	4
環境・リサイクル	2,922	15.3	2,890	15.3	32
地域経済の発展	296	1.6	299	1.6	3
道路・河川等の整備・安全なまちづくり	5,938	31.1	5,893	31.2	45
港湾の整備	1,526	8.0	1,520	8.1	6
計画的なまちづくり	2,812	14.8	2,728	14.5	84
学校教育・生涯学習	3,660	19.2	3,601	19.1	59
行政運営	540	2.8	548	2.9	8
共生と参加のまちづくり	566	3.0	578	3.1	12

5 有形固定資産の経年比較 (H16年度、H11年度、H6年度との比較)

(1) 総額の比較



(単位: 億円)

区分	平成6年度 A	平成11年度 B	平成16年度 C	増減額 B-A	増減額 C-B
総務費	874	907	1,081	33	174
民生費	610	658	419	48	239
衛生費	1,199	1,511	1,648	312	137
土木費	8,709	10,721	11,644	2,012	923
教育費	3,314	3,486	3,701	172	215
その他	240	372	574	132	202
計	14,946	17,655	19,067	2,709	1,412

平成6年度から平成11年度までの5年間の増加額は2,709億円であるのに対して、平成11年度から平成16年度までの5年間の増加額は1,412億円と、増加額が減少しています。これは、平成6年度を境に、投資的経費が減少してきたためです。

なお、民生費が平成11年度と比較して減少しているのは、平成12年度に介護保険事業特別会計が設置されたことに伴い、有形固定資産を移行させたことによります。

(2) 構成比の比較

(単位:%)

区 分	平成6年度 A	平成11年度 B	平成16年度 C	増減 B-A	増減 C-B
総 務 費	5.8	5.1	5.7	0.7	0.6
民 生 費	4.1	3.7	2.2	0.4	1.5
衛 生 費	8.0	8.6	8.6	0.6	0.0
土 木 費	58.3	60.7	61.1	2.4	0.4
教 育 費	22.2	19.8	19.4	2.4	0.4
そ の 他	1.6	2.1	3.0	0.5	0.9
計	100.0	100.0	100.0		

10年間の構成比を比較すると、土木費や衛生費の構成比が増加し、民生費は、新規の福祉施設について主に民間による整備を進めているため1.9ポイント低くなり、教育費は平成6年度以前に教育施設の整備が進んでいたことから、2.8ポイント低くなっています。

6 土地の取得状況

有形固定資産のうち、土地(9,976億円)の取得状況は、次のとおりです。

(単位:億円)

区 分	平成16年度 A	平成15年度 B	A-B
道路橋りょう	952	930	22
街 路	2,439	2,383	56
公 営 住 宅	221	221	0
小 学 校	512	485	27
中 学 校	242	242	0
そ の 他	5,610	5,491	119
計	9,976	9,752	224

街路用地が、供用済み土地の買戻しなどにより56億円、その他が(仮称)薬医門公園用地や、川崎駅西口堀川町地区の公園用地などの取得により119億円となっています。

7 他都市との比較

総務省方式で作成した他の指定都市のバランスシートについて比較してみますが、現段階では平成16年度分を公表していない都市もあるため、平成15年度の数値によります。

他都市平均は、本市を含まない平均です。

(1) バランスシート総額の比較

(単位:億円)

区 分	川崎市 (H16)	川崎市 (H15)	他都市平均 (H15)	札幌市 (H15)
資 産	21,333	21,015	32,040	32,105
負 債	9,577	9,327	13,299	11,937
正味資産	11,756	11,688	18,741	20,167
負債 / 資産	44.9%	44.4%	41.5%	37.2%

区 分	仙台市 (H15)	千葉市 (H15)	さいたま市 (H15)	横浜市 (H15)
資 産	17,900	13,348	12,607	63,976
負 債	7,770	6,941	3,389	26,119
正味資産	10,130	6,407	9,217	37,857
負債 / 資産	43.4%	52.0%	26.9%	40.8%

区 分	静岡市 (H15)	名古屋市 (H15)	京都市 (H15)	大阪市 (H15)
資 産	9,918	40,594	22,857	77,888
負 債	3,647	18,712	10,895	30,578
正味資産	6,271	21,882	11,962	47,310
負債 / 資産	36.8%	46.1%	47.7%	39.3%

区 分	神戸市 (H15)	広島市 (H15)	北九州市 (H15)	福岡市 (H15)
資 産	46,482	21,631	25,073	32,142
負 債	20,169	9,552	9,017	14,159
正味資産	26,313	12,079	16,056	17,983
負債 / 資産	43.4%	44.2%	36.0%	44.1%

総額での比較をみると、川崎市は資産の額及び正味資産の額で、いずれも多いほうから10番目、負債の額では9番目となっています。

また、負債と資産の割合では、高い方から4番目と上位に位置し、率でも他都市平均を上回っています。

(2) 市民一人あたりの比較

(単位:千円)

区 分	川崎市 (H16)	川崎市 (H15)	他都市平均 (H15)	札幌市 (H15)
資 産	1,666	1,654	2,008	1,747
負 債	748	734	835	650
正味資産	918	920	1,173	1,097
負債 / 資産	44.9%	44.4%	41.6%	37.2%

区 分	仙台市 (H15)	千葉市 (H15)	さいたま市 (H15)	横浜市 (H15)
資 産	1,800	1,491	1,188	1,830
負 債	782	775	319	747
正味資産	1,019	716	869	1,083
負債 / 資産	43.4%	52.0%	26.9%	40.8%

区 分	静岡市 (H15)	名古屋市 (H15)	京都市 (H15)	大阪市 (H15)
資 産	1,410	1,912	1,649	3,120
負 債	519	881	786	1,230
正味資産	892	1,031	863	1,890
負債 / 資産	36.8%	46.1%	47.7%	39.4%

区 分	神戸市 (H15)	広島市 (H15)	北九州市 (H15)	福岡市 (H15)
資 産	3,122	1,926	2,522	2,388
負 債	1,354	850	907	1,052
正味資産	1,768	1,076	1,615	1,336
負債 / 資産	43.4%	44.1%	36.0%	44.1%

市民1人あたりの比較でみると、川崎市は資産の額及び正味資産の額では多いほうから10番目、負債の額では11番目となっています。